

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-324020

(43)Date of publication of application : 08.11.2002

(51)Int.Cl.

G06F 13/00

G06F 3/00

G06F 17/30

(21)Application number : 2001-129139

(71)Applicant : SHARP CORP

(22)Date of filing :

26.04.2001

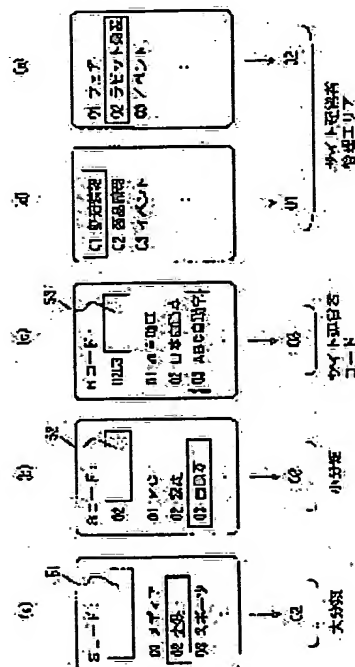
(72)Inventor : YAMAZAKI MASAKI
SHIMA KOJI

(54) INTERNET ACCESS SUPPORT METHOD, INTERNET ACCESS SUPPORT DEVICE, INTERNET ACCESS SUPPORT PROGRAM AND COMPUTER- READABLE RECORDING MEDIUM WITH INTERNET ACCESS SUPPORT PROGRAM RECORDED THEREON

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce labor required for the input work for acquiring information that a user desires when getting access to the Internet, and to improve the operability.

SOLUTION: Figures 5 (a) to 5 (e) show menu screens displayed when descending the hierarchies in sequence. A S code indicates a numeric given to every item in correspondence with the hierarchical structure. For instance, a S code for getting access to (b) is '02', and a S code for getting access to (c) is '0203'. For getting access to each screen, descending the hierarchies stepwise is a method, and it is also possible to get access to the desired screen directly by inputting its S code directly. In that case, only inputting a simple numeric value easily permits the access to a desired site, and the operability is improved.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of

rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-324020

(P2002-324020A)

(43) 公開日 平成14年11月8日 (2002.11.8)

| (51) Int.Cl. | 識別記号 | F I | テ-マ-ト* (参考) |
|---------------|-------|---------------|-------------------|
| G 0 6 F 13/00 | 5 1 0 | C 0 6 F 13/00 | 5 1 0 C 5 B 0 7 6 |
| 3/00 | 6 5 4 | 3/00 | 6 5 4 A 5 E 5 0 1 |
| 17/30 | 1 1 0 | 17/30 | 1 1 0 C |
| | 3 1 0 | | 3 1 0 B |
| | 3 2 0 | | 3 2 0 C |

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2001-129139(P2001-129139)

(22) 出願日 平成13年4月26日 (2001.4.26)

(71) 出願人 000003049

シャープ株式会社

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号

(72) 発明者 山崎 正貴

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

(72) 発明者 島 康志

大阪府大阪市阿倍野区長池町22番22号 シ

ャープ株式会社内

(74) 代理人 100064746

弁理士 深見 久郎

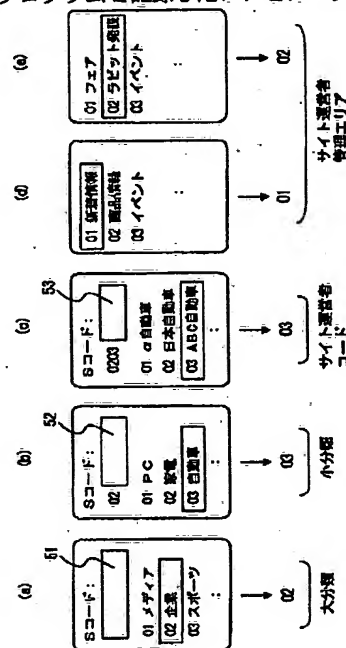
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネットアクセス支援方法、インターネットアクセス支援装置、インターネットアクセス支援プログラムおよびインターネットアクセス支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り

(57) 【要約】

【課題】— インターネットにアクセスする際に、ユーザが所望する情報を得るための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上する。

【解決手段】 図5(a)から(e)は、順に階層を降りて行った際に表示されるメニュー画面を示している。Sコードは、この階層構造に対応して各項目ごとに数字が付与されたものであり、たとえば、(b)にアクセスするためのSコードは「02」であり、(c)にアクセスするためのSコードは「0203」である。各画面にアクセスするためには、段階的に階層を下がって行くという方法もあるが、Sコードを直接入力することによって、ダイレクトに所望する画面へアクセスすることもできる。その場合は、簡単な数値を入力するだけで容易に所望のサイトへアクセスすることが可能となり、操作性が向上する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援方法であって、

データを受信する受信ステップと、

前記受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する第1の選出ステップと、

前記選出されたURLを前記データの送信元に返信する第1の返信ステップとを備え、

前記所定の数字データは、前記階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする、インターネットアクセス支援方法。

【請求項2】 所定の数字データとURLとを対応づけて第1のメモリに記憶する第1の記憶ステップをさらに備え、

前記第1の選出ステップは、前記第1のメモリを参照して、前記受信された所定の数字データに基づき対応するURLを選出する、請求項1に記載のインターネットアクセス支援方法。

【請求項3】 前記受信されたデータが前記階層毎に設けられた1以上の項目の中から選択された1の項目のデータである場合、該選択された1の項目のデータにより指定されるサイトのURLを選出する第2の選出ステップと、

前記第2の選出ステップにより選出されたURLを前記データの送信元に返信する第2の返信ステップとをさらに備えた、請求項1または2に記載のインターネットアクセス支援方法。

【請求項4】 階層毎に設けられた各項目と所定の数字データとを対応づけて第2のメモリに記憶する第2の記憶ステップをさらに備え、

前記第2の選出ステップは、前記第2のメモリを参照して、前記選択された1の項目のデータに対応する所定の数字列を選出する第2の選出ステップと、

前記第1のメモリを参照して、前記第2の選出ステップにより選出された所定の数字列に対応するURLを選出する第3の選出ステップとを含み、

前記第2の返信ステップは、前記第3の選出ステップにより選出されたURLを返信する、請求項3に記載のインターネットアクセス支援方法。

【請求項5】 前記第1のメモリは、サイトの提供者により管理される管理エリアを含み、

前記管理エリアは、前記サイトの提供者による記録内容の変更が可能であることを特徴とする、請求項1～4のいずれかに記載のインターネットアクセス支援方法。

【請求項6】 階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援装置であって、

データを受信する受信手段と、

前記受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する選出手段と、

前記選出されたURLを前記データの送信元に返信する返信手段とを備え、

前記所定の数字データは、前記階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする、インターネットアクセス支援装置。

【請求項7】 階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援方法をコンピュータに実行させるためのプログラムであって、

データを受信する受信ステップと、

前記受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する選出ステップと、

前記選出されたURLを前記データの送信元に返信する返信ステップとをコンピュータに実行させ、

前記所定の数字データは、前記階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする、インターネットアクセス支援プログラム。

【請求項8】 請求項7に記載のインターネットアクセス支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はインターネットアクセス支援方法および装置、ならびに、インターネットアクセス支援プログラムおよび該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関し、特に、インターネットサービスにおけるWebサイトに携帯電話等の情報端末からテンキーのいずれかを押すだけでアクセスすることを可能としてインターネットアクセス支援方法および装置、ならびに、インターネットアクセス支援プログラムおよび該プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

【0002】

【従来の技術】たとえば携帯電話からインターネットサービス上のWebサイトを見るには、通常、以下の3つの方法がある。第1の方法は、キーワード入力による検

検索エンジンを使うというものである。第2の方法は、URL (Uniform Resource Locators) を直接打込むというものである。そして、第3の方法は、メニューから順に目的のサイトを探していくというものである。

【0003】図9は、第3の方法を説明するために携帯電話に表示される画面の例を示した図である。ここでは、ユーザが山梨テレビの提供するWebサイトへのアクセスを希望する場合を例に挙げて説明する。

【0004】携帯電話からインターネットサービスに接続すると、まず、図9(a)に示すようなメインメニューが画面上に表示される。ユーザは、表示されたメインメニューの中から「サービスメニュー」の項目を選択する。具体的には、カーソルを「サービスメニュー」の位置まで移動させ、決定キーを押下することになる。

【0005】すると、図9(b)に示すようなサービスメニューの画面が表示され、その中から「エンターテイメント」の項目を選択する。同様にして、エンターテイメントの画面が表示され、その中から「メディア」の項目を(図9(c))、メディアの画面の中から「テレビ」の項目を(図9(d))、そして、テレビの画面の中から「山梨テレビ」の項目を(図9(e))、それぞれ選択する。

【0006】このように、第3の方法によると、メニューを順に降りていくことで、最終的に所望のWebサイトへアクセスすることができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】以上説明した従来の方法では、入力操作が面倒であり、操作性が悪いという問題があった。

【0008】すなわち、検索エンジンを使うという第1の方法やURLを打ち込むという第2の方法では、入力作業として、アルファベット、漢字、仮名、記号等を打ち込む必要がある。このため、携帯電話等のテンキーのみを有する端末では、テンキーを用いてこれらの文字等を入力しなければならず、キー操作が非常に煩雑であった。

【0009】この問題を解決するための技術として、たとえば、特開平10-78928号公報には、ユーザに長く複雑な文字列のURLを意識させずに、URLに対応する比較的短い番号を入力するだけでインターネットにアクセスすることのできるインターネットアクセス方法に関する技術が開示されている。

【0010】しかしながら、この技術によると、所望するURLに対応した数字をすべて正確に入力する必要がある、その数字の一部でも不明のものがあれば所望するサイトにアクセスすることができないという問題があった。

【0011】一方、メニューから探していくという第3の方法では、図9で示したように、所望のサイトにたどり着くまでにいくつもの階層を降りていく必要があり、

非常に手間を要した。また、自分の所望するサイトがどのカテゴリに分類されているかを知らなければならなかった。

【0012】しかも、提供されるメニューの中の選択項目が多数ある場合などは、さらに使い勝手が悪いものとなった。たとえば、「テレビ」メニューの中の80番目のサイトにアクセスするような場合は、80番目まで画面をスクロールして選択しなければならない。カテゴリを誤った場合は、多数の項目をチェックして初めて自己の所望する項目が存在せず、カテゴリの誤りであることに気づくケースもある。

【0013】本発明は、これらの実情に鑑み考え出されたものであり、その目的は、ユーザが所望する情報を得るための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上することのできるインターネットアクセス支援方法、インターネットアクセス支援装置、インターネットアクセス支援プログラムおよびインターネットアクセス支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することである。

【0014】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明のある局面に従うと、インターネットアクセス支援方法は、階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援方法であって、データを受信する受信ステップと、受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する第1の選出ステップと、選出されたURLをデータの送信元に返信する第1の返信ステップとを備え、所定の数字データは、前記階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする。

【0015】この発明によると、受信されたデータが、階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータである場合、そのデータに基づいて指定されるサイトのURLが選出され、選出されたURLがデータの送信元に返信される。

【0016】すなわち、数字列が全部入力されると、それに対応するURLが適切に選出される。このため、ユーザは、所望のサイトにアクセスするために階層毎に項目を1つずつ選択し、階層を順に降りていくという必要がなく、数字列を全部入力することでダイレクトにアクセスすることが可能となる。よって、煩雑な入力作業が不要となり労力が軽減される。

【0017】また、数字列の一部が入力されると、そのデータに基づいて適切に所望するサイトのURLが選出

される。つまり、所望のサイトに到着するまでに必要な階層のうち一部の階層まで降りた状態で、残りの階層に対応する数字列が入力されたような場合にも、適切に所望のサイトのURLが選出される。よって、全数字列のうち一部が不明な場合でも、途中の階層から数字列を入力することで所望のサイトにアクセスすることが可能となり、使い勝手がよくなる。

【0018】ユーザは、いわゆる従来からのディレクトリ型検索により、階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目を順次選択していくことで所望のサイトへアクセスすることも可能である。よって、従来からの方法である各階層に設けられた項目を選択するという入力方法と、数字列を入力するという入力方法とを、適宜、選択することが可能となり、操作性が向上する。

【0019】したがって、ユーザが所望する情報を得るための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上することのできるインターネットアクセス支援方法を提供することが可能となる。

【0020】好ましくは、インターネットアクセス支援方法は、所定の数字データとURLとを対応づけて第1のメモリに記憶する第1の記憶ステップをさらに備え、第1の選出ステップは、第1のメモリを参照して、受信された所定の数字データに基づき対応するURLを選出する。

【0021】これによると、所定の数字データとURLとが予め第1のメモリに記憶される。そして、所定の数字データが受信された場合は、この第1のメモリを参照して対応するURLが選出される。よって、迅速かつ的確に対応するURLの選出が可能となる。

【0022】好ましくは、インターネットアクセス支援方法は、受信されたデータが階層毎に設けられた1以上の項目の中から選択された1の項目のデータである場合、該選択された1の項目のデータにより指定されるサイトのURLを選出する第2の選出ステップと、第2の選出ステップにより選出されたURLをデータの送信元に返信する第2の返信ステップとをさらに備える。

【0023】これによると、受信されたデータが階層毎に設けられた1以上の項目の中から選択されたいずれか1の項目のデータである場合は、その選択された1の項目のデータにより指定されるサイトのURLが選出され、送信元に返信される。よって、いわゆるディレクトリ型検索が行なわれ、データが送信された場合も該当するサイトのURLが適切に選出され、返信される。

【0024】好ましくは、インターネットアクセス支援方法は、階層毎に設けられた各項目と所定の数字データとを対応づけて第2のメモリに記憶する第2の記憶ステップをさらに備え、第2の選出ステップは、第2のメモリを参照して、選択された1の項目のデータに対応する所定の数字列を選出する第2の選出ステップと、第1のメモリを参照して、第2の選出ステップにより選出され

た所定の数字列に対応するURLを選出する第3の選出ステップとを含み、第2の返信ステップは、第3の選出ステップにより選出されたURLを返信する。

【0025】これによると、所定の数字データとURLとが対応付けられて第1のメモリに記憶され、また、階層毎に設けられた各項目と所定の数字データとが対応付けられて第2のメモリに記憶される。そして、受信されたデータが各階層に設けられた項目の中から選択された1の項目のデータである場合、まず、第2のメモリが参照されて、対応する所定の数字列が選出され、さらに、第1のメモリが参照されて、対応するURLが選出される。第1および第2のメモリが適切に参照され、迅速かつ的確に所望のURLが送信元に返信されることになる。

【0026】好ましくは、第1のメモリは、サイトの提供者により管理される管理エリアを含み、管理エリアは、サイトの提供者による記録内容の変更が可能であることを特徴とする。

【0027】これによると、第1のメモリには、所定のサイトを提供する提供者により管理される管理エリアが設けられる。その管理エリア内は、サイト提供者が記録内容を適宜変更することが可能となっている。このため、サイト提供者は、自由かつ容易に記録内容を変更することができ、ユーザの元へ最新情報を迅速に提供することが可能となる。

【0028】本発明の別の局面に従うと、インターネットアクセス支援装置は、階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援装置であって、データを受信する受信手段と、受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する選出手段と、選出されたURLをデータの送信元に返信する返信手段とを備え、所定の数字データは、階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする。

【0029】この発明によると、受信されたデータが、階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータである場合、そのデータに基づいて指定されるサイトのURLが選出され、選出されたURLがデータの送信元に返信される。

【0030】なお、いわゆる従来からのディレクトリ型検索により、階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目を順次選択していくことで所望のサイトへアクセスすることも可能である。

【0031】したがって、ユーザが所望する情報を得る

ための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上することのできるインターネットアクセス支援装置を提供することが可能となる。

【0032】本発明のさらに別の局面に従うと、インターネットアクセス支援プログラムは、階層毎に設けられた1以上の項目の中から1の項目が順次選択されていくことにより所望のサイトへのアクセスを可能としたインターネットアクセス支援方法をコンピュータに実行させ、データを受信する受信ステップと、受信されたデータが所定の数字データである場合、該数字データに基づいて指定されるサイトのURLを選出する第1の選出ステップと、選出されたURLをデータの送信元に返信する第1の返信ステップとをコンピュータに実行させ、所定の数字データは、階層毎に設けられた1以上の各項目に割り当てられた数字の中から選択された数字を、それぞれ階層順に並べることにより構成される数字列の全部あるいは一部のデータであることを特徴とする。

【0033】この発明によると、ユーザが所望する情報を得るための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上することのできるインターネットアクセス支援プログラムを提供することが可能となる。

【0034】本発明のさらに別の局面に従うと、コンピュータ読み取り可能な記録媒体は、上記のインターネットアクセス支援プログラムを記録する。

【0035】この発明によると、ユーザが所望する情報を得るための入力作業に要する労力を軽減し、より操作性を向上することのできるインターネットアクセス支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することが可能となる。

【0036】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を用いて詳細に説明する。

【0037】なお、ここでは、インターネットアクセス支援装置としての「Sコード管理サーバ」が、形態端末のインターネットアクセスを支援する場合を例に挙げて説明する。「Sコード」という名称は説明の便宜上、使用するものである。

【0038】図1は、本発明の実施の形態におけるSコード管理サーバ100がインターネット500に接続されネットワークを構成する例を示した図である。本図に示すように、「Sコード」を管理するSコード管理サーバ100、自己のWebサイトを提供するサイト用サーバ300、および、携帯電話の基地局400は、インターネット500に接続され、相互にデータ通信が可能となっている。携帯端末200は、移動体通信網により基地局400と接続され、基地局400を介してインターネット500に接続される。

【0039】ここで、「Sコード」とは、インターネットサービスにおけるメニューの各階層に対応して付与された数字を階層順に並べた数字列をいう。詳細は後述す

るが、その数字列全てに限られず、その一部の数字列についても「Sコード」と呼ぶ。

【0040】携帯端末200を使用するユーザは、サイト用サーバ300が提供するWebサイトにアクセスする場合、たとえば、Sコードとして規定されている所望の数字を入力する。携帯端末200から送信された数字データは、基地局400を介してインターネット500を経由し、Sコード管理サーバ100へと送られる。

【0041】Sコード管理サーバ100は、Sコードとそれに対応するURLとを記録したデータベースを備えており、そのデータベースを参照することによって、送られてきた数字データに対応した所望のWebサイト用のURLを選出する。そして、選出したURLを携帯端末200へと返信する。これを受けた携帯端末200は、送られてきたURLを用いて、所望のWebサイトへとアクセスする。

【0042】図2は、携帯端末200について説明するための模式図である。図2を参照して、携帯端末200は、数字、文字等の入力を行なうための入力部203と、メニュー画面や所望のサイト等を表示するための出力部201とを含む。入力部203は、図示しないテンキーやスクロールキー、確認キー等で構成される。

【0043】ユーザは、雑誌、新聞、TV、ラジオ、吊り革広告、および交通広告等からサイト運営者（企業、団体等）が提供するサイトについてのSコードを認知することができる。たとえば、雑誌、新聞等には、サイト運営者が提供する広告が掲載され、その下にその広告のサイトを見るためのURLとSコードが記載される。

【0044】これを見たユーザは、携帯端末200の入力部203から所望の広告等のサイトを見るためにテンキーや#キー等を用いてSコードの入力を行なう。すると、入力されたSコードに対応した所望のWebサイトにアクセスでき、その内容が出力部201に表示される。

【0045】図3は、Sコード管理サーバ100の概略構成を示した機能ブロック図である。本図を参照して、Sコード管理サーバ100は、外部から送信されてきたデータを受信する受信部101と、データベース103と、受信されたデータの内容を解析し、データベース103から所望のURLを選択する解析部109と、選択されたURLを送信する送信部111と、これら全体を制御する制御部113とを備える。

【0046】受信部101は、携帯端末200から送信されてくる、Sコードデータやメニュー選択項目データを受信する。解析部109は、受信データを解析し、まずそれがSコードデータであるかメニュー選択項目データであるかを判断する。そして、その内容に基づいて、データベース103から所望のURLの選出を行なう。

【0047】データベース103は、SコードとURLとを対応付けて記録したSコードテーブル105、およ

び、メニュー選択項目とSコードとを対応付けて記録したメニューテーブル107を含む。

【0048】解析部109により、受信部101において受信されたデータがSコードデータであると判断された場合は、Sコードテーブル105が参照されて、その数字に対応するURLが読み出される。また、受信されたデータがメニュー選択項目データであると判断された場合は、メニューテーブル107が参照されて、そのデータに対応するSコードが読み出される。そして、読み出されたSコードに基づき、Sコードテーブル105が参照されて、その数字に対応するURLが読み出される。

【0049】読み出されたURLは、送信部111により、携帯端末200へと返信される。

【0050】図4は、データベース103に登録されているSコードテーブル105の例を示した図である。本図に示すように、Sコードテーブル105には、SコードとURLとがそれぞれ対応付けて登録されている。したがって、携帯端末200からSコードが入力されると、Sコード管理サーバ100において、そのSコードに対応して記録されたURLが読み出され、それが携帯端末200に返されることになる。ユーザは複雑で長いURLのアルファベットや記号を入力する代わりに、対応する簡単な数字列の並びであるSコードを入力すればその該当するURLを自動的に取得することができる。

【0051】図5は、Sコードと階層構造になったメニュー項目との関係を説明するための携帯端末200に出力される表示画面の例を示した図である。図5(a)から(e)は、順に階層を降りて行った際に表示されるメニュー画面を示している。

【0052】図5(a)には、メインメニューが表示されており、たとえば、「メディア」、「企業」、「スポーツ」等の大分類の項目が示される。その中から、「企業」が選択された場合は、その下の階層である、図5(b)の「PC」、「家電」、「自動車」等、企業の中の小分類を示すメニュー画面が表示される。そして、その中から「自動車」が選択された場合は、さらに下の階層である、図5(c)の「α自動車」、「日本自動車」、「ABC自動車」等、各自動車の中の小分類(サイト運営者)を示すメニュー画面が表示される。

【0053】なお、ここまでの画面についてはSコード管理サーバ100が管理しており、そのURLは、Sコードテーブル105におけるSコード管理サーバ100の管理エリアに記録されている。

【0054】図5(c)のメニュー画面の中から「ABC自動車」が選択されると、図5(d)のメニュー画面が表示され、「新着情報」、「商品情報」、「イベント」等の項目が示される。ここからの画面については各情報を提供するサイト運営者が管理するものであり、そのURLは、Sコードテーブル105におけるサイト運

営者の管理エリアに記録されている。

【0055】「新着情報」が選択されると、図5(e)のメニュー画面が表示され、「フェア」、「ラビット発表」、「イベント」等の項目が表示される。そして、「ラビット発表」が選択されると、ラビット発表に関する広告画面(図示せず)が表示されることになる。

【0056】このように、各画面は階層構造になっており、Sコードは、この階層構造に対応して各項目ごとに数字が付与されたものである。すなわち、図5で示される、メニュー画面の各項目に対応した数字の並びがSコードとなる。

【0057】具体的には、図5(b)にアクセスするためのSコードは「02」であり、図5(c)にアクセスするためのSコードは、「02」に「03」が付与されて「0203」となる。そして、図5(d)、図5(e)、およびラビット発表(図示せず)にアクセスするためのSコードはそれぞれ新たに「03」、「01」、「02」が順に付与され、「020303」、「02030301」、および「0203030102」となる。

【0058】各画面にアクセスするためには、いわゆるディレクトリ型検索を用いて、段階的に階層を下がって行くという方法もあるが、Sコードを直接入力することによって、ダイレクトに所望する画面へアクセスすることもできる。

【0059】たとえば、図5(a)に示されるメインメニューにおいて、企業を選択する場合には、通常通り、カーソルを企業の項目まで移動させ、そこで確定キーを押下するという方法があるが、表示画面の下方の入力欄51にSコードの「02」を入力することもできる。いずれの場合も、図4に示したSコード「02」に対応するURL(www.s_code.co.jp/index)が取得され、それを用いて対応するサイトにアクセスされる。すると、携帯端末200の出力部201には、図5(b)に示す企業メニューが表示される。

【0060】メニューとして表示された項目が多数存在し、かつ、所望する項目が後ろの方にあるような場合には、わざわざ、画面をスクロールさせてから確定キーを押下するという方法は面倒である。仮に、所望する項目が、何番目の項目であるかが認知されているような場合には、直接Sコード入力をする方が容易であり操作性がよい。

【0061】また、このように、次の階層のいずれかに降りる場合のみならず、複数の階層を一気に降りる場合にもSコード入力が便利となる。ユーザが、たとえばABC自動車が提供するラビット発表に関する広告を見たいと希望する場合、それに対応するSコードを正確に認知している場合は、そのSコードである「0203030102」を、図5(a)の入力欄51に直接入力することができる。直接Sコード「0203030102」

が入力されると、それに対応するURLである(www.abcauto.co.jp/rabbit-index.html)がSコード管理サーバ100から返信され、それに基づいて対応するサイトの情報が得られる。

【0062】なお、Sコードは、各階層の項目に対応して設けられているため、順番に階層を降りながら所望のサイトを見ることもできる。すなわち、メインメニューにおいて、入力欄51にSコード「02」を入力すると、前述したように企業に関するメニュー(図5(b))が表示される。

【0063】ここで、入力欄52に、自動車に対応するSコード「03」を入力すると、Sコード管理サーバ100では、先に入力されたSコード「02」に関する情報が記憶されているため、その情報にSコード「03」が付加されたものが入力されたものと認識される。すなわち、Sコード「0203」が入力されたものと認識され、図5(c)に示す自動車に関するメニューが表示される。

【0064】そこで、入力欄53に、ABC自動車に対応するSコード「03」を入力すると、Sコード管理サーバ100においては、Sコード「020303」が入力されたものと認識され、図5(d)に示すABC自動車に関するメニュー画面が表示される。

【0065】また、自動車に関するメニューの中の新着情報の画面を表示させたい場合は、入力欄53に、ABC自動車に対応するコードに加えて、新着情報に対応するコード「01」の付加されたコード「0301」を入力する。すると、Sコード「02030301」が入力されたと認識され、図5(e)に示す新着情報の画面が表示される。

【0066】また、新着情報の中のラビット発表の画面を表示させたい場合は、入力欄53に、さらにラビット発表に対応するコード「02」を付加したコード「030102」を入力する。すると、Sコード「0203030102」が入力されたものと認識され、所望するラビット発表の広告情報の画面が表示される。

【0067】なお、図5(d)からの画面については、サイト提供者の管理下となるため、画面にはSコード入力欄というものが設けられていない。したがって、階層に下りていく場合にも、図5(c)の入力欄53に、各階層の各画面に対応するコードを全て入力する必要がある。

【0068】このように、メニュー表示からカーソルによる選択操作を行なう代わりに各画面の入力欄にSコード入力を行なうことにより、所望のサイトにアクセスすることが可能となる。また、Sコード入力と、メニュー表示からの選択操作とを適当に組合せて所望のサイトにアクセスすることも可能となる。

【0069】たとえば、ABC自動車のラビット発表に関する広告を取得したい場合、電車の吊り広告等によ

り、そのラビット発表広告に対応するSコードを途中で覚えていたとする。その場合、たとえば「0203」までのSコードを、図5(a)に表示されているメインメニューの入力欄51に入力することができる。これにより、図5(c)に表示される自動車に関するメニュー表示を得ることができる。

【0070】そして、そこから、入力欄53に残りのコード「030102」を直接入力して、ラビット発表広告の画面に飛ぶこともできる。また、たとえば入力欄53にコード「03」を入力し、一旦、ABC自動車に関するメニュー表示を得、そこからカーソルと確定キーとを用いて、「新着情報」、「ラビット発表」をそれぞれ選択し、所望のラビット発表広告画面に到着することもできる。

【0071】このようにSコード管理サーバ100によると、ユーザがSコードである数字列を直接入力することにより、所望するWebサイトにダイレクトにアクセスすることが可能となる。したがって、アルファベットや記号等からなる複雑なURLを直接入力する場合と比較して、入力作業に対する労力が軽減される。

【0072】また、Sコードが各階層ごとに設けられた項目に対応して設定されているため、ユーザは、Sコード入力と通常のメニュー表示からの項目選択とを相互に乗り入れをすることが可能となる。このため、Sコードをすべて覚えていない場合であっても、メニュー表示からの選択操作とSコード入力とを適宜組合せて、最終的に所望のサイトにアクセスすることが可能となる。

【0073】さらに、メニュー項目が多数ある場合にも、わざわざ所望する項目が表示されるまでスクロールをすることなく、簡単な数値を入力するだけで容易に所望のサイトへアクセスすることが可能となる。よって、操作性が大いに向上する。

【0074】図6は、Sコード管理サーバ100における全体処理の流れを示したフローチャートである。本図を参照して、携帯端末200からインターネットのSコードサービスに接続されると、ステップS601において、携帯端末200には初期メニュー表示のためのデータが返される。したがって、携帯端末200の出力部201には、たとえば、図7で示すようなSコード入力を行なうか否かの選択が可能なメインメニュー画面が表示される。

【0075】図7は、Sコードサイトに接続された際に最初に表示されるメインメニュー画面の例を示した図である。本図を参照して、ここでは、Sコードボックス71と、その下の「メディア」、「企業」、「スポーツ」等の大分類の項目とが表示されている。Sコードの入力を行なう場合には、Sコードボックス71が選択される。また、通常のディレクトリ型の検索を行なう場合、すなわちメニュー画面から順に階層を降りて目的のサイトにアクセスする場合には、その下に表示されている項

目のいずれかが選択される。

【0076】このメインメニュー画面から、ユーザによりSコードの入力が選択された場合、すなわちSコードボックス71が選択された場合は(ステップS603で“YES”)、図8(a)で示すようなSコード入力を行なうための画面が表示される。ここで、上部の入力欄にSコードが入力され、「決定」キーが入力されると(ステップS605で“YES”)、ステップS607の処理へと進む。ここで、「キャンセル」キーが押下されると(ステップS617で“YES”)、ステップS601の初期のメインメニュー表示画面へと戻る。

【0077】ステップS607では、入力された数字列からSコードの解析が行なわれる。すなわち、Sコード入力がされたと判断された場合は、入力された数字列あるいはその数字列を含む数字列が、Sコードテーブル105を参照することの可能なコードか否かが判断される。

【0078】入力されたSコードが解析可能なコードである場合(ステップS609で“YES”)、ステップS611において、Sコードに対応するURLの選出が行なわれる。すなわち、データベース103に登録されているSコードテーブル105が参照されて、該当するURLが選出される。そして、ステップS611において、その選出されたURLがSコードの送信元である携帯端末200へと返信される。

【0079】ここで選出されたURLが最終的にユーザが所望するサイトのURLである場合は、処理を終了する(ステップS615で“YES”)。これにより、携帯端末200側では、返信されたURLを用いて所望のサイトへのアクセスが行なわれる。たとえば、図8

(a)で示したようにラビット発表についてのSコードがすべて入力された場合などは、対応する所望のURLが返されるため処理が終了する。携帯端末200では、そのURLを用いて、図8(b)で示すようなラビット発表のサイトが表示される。

【0080】一方、まだ、所望のサイトのURLの返信がされていない場合は(ステップS615で“NO”)、再び、ステップS621の処理へと戻り、ユーザ入力が行なわれる。

【0081】なお、ステップS607のSコード解析が不可能である場合は(ステップS609で“NO”)、ステップS619において、解析不可である旨のエラー通知が携帯端末200へと返される。

【0082】ところで、ステップS603において、Sコードの入力が行なわれなかった場合は(ステップS603で“NO”)、ステップS621の処理へと進む。ステップS621においては、表示されているメニュー項目のいずれかの項目が選択されたか否かが判断される。すなわち、入力欄にSコードが直接入力されるのではなく、通常通りのカーソル移動および確定キーによ

り、メニュー選択が行なわれたか否かが判断される。

【0083】そして、メニューからの項目選択が行なわれた場合は(ステップS621で“YES”)、ステップS625で、その選択された項目が、それに対応するSコードに変換される。この際、データベース103に含まれるメニューテーブル107が参照される。

【0084】Sコードへの変換が可能であれば(ステップS627で“YES”)、ステップS607の処理へと進み、Sコードが解析され、それを用いたURLの選出、および返信という、Sコード入力からの場合と同じ処理が行なわれる(ステップS607～ステップS615)。

【0085】なお、ステップS621において、メニュー表示画面から、項目選択ではなく、入力欄にSコードが入力された場合は(ステップS621で“NO”)、ステップS623で“YES”)、ステップS607の処理へと進み、以下、Sコードの解析、URLの選出および返信という、一連の処理が行なわれる。(ステップS607～ステップS615)。

【0086】そして、上記一連の処理が、ユーザの所望するサイトのURLが携帯端末200に返信されて、ユーザ入力終了するまで(ステップS615で“YES”)行なわれる。

【0087】このように、ユーザは、Sコードサイトへアクセスすると、図7に示したような初期メニューからSコードを直接入力するという方法や、図5で示したようなSコードメニューからメニュー項目の選択を行なうという方法や、同じく図5で示したようなSコードメニューからSコードを入力するという方法を、適当に採ることができる。

【0088】特に、図5に示したようなメニュー画面から項目選択、あるいはSコード入力を行なう場合は、ユーザが適宜これらを組み合わせることにより、容易に所望のサイトへアクセスすることが可能となる。

【0089】たとえば、電車の吊広告などから、携帯端末を所有するユーザがあるサイトのSコードを認知したとする。この場合、携帯端末に直接Sコードを全て入力することにより、直接その所望するサイトへとアクセスすることも可能である。しかし、そのSコードの一部のみを記憶している場合などは、まず、記憶しているSコードを入力する。すると、それに対応するメニュー表示が行なわれる。ユーザは、その表示画面から、適当に項目を選択することにより、最終的に所望するサイトへとアクセスすることが可能となる。

【0090】ここでは、表示される各項目毎にSコードが設定されているため、Sコード入力と項目選択による入力との乗り入れが可能である。よって、項目数が少ない場合は、項目選択による入力を行ない、項目数が多い場合は、入力欄に数字を入力することにより項目選択を行なうというように、より容易な方法でもって項目を選

択することができる。

【0091】以上説明したように、本実施の形態におけるインターネットアクセス方法によると、Sコード入力または従来からのメニュー選択キーによる入力とを適宜組合せることにより、容易に所望のサイトのURLを得ることが可能となり、入力作業に要するユーザの労力を軽減することができる。

【0092】なお、Sコード管理サーバ100に管理されるSコードテーブル105は、サイト運営者が所定のサイト運営者管理エリアについて、オンライン上で自由に管理することができる。したがって、サイト運営者コードとして割当てられているサイト運営者は、対象となる運営者管理エリアを自由に書込むなど、変更することが可能となる。このため、サイト運営者は自由に自己の管理する管理エリアを書替えることによりユーザへ最新情報等を提供することが可能となる。

【0093】図5においても説明したが、今回はサイト運営者管理エリアは、全てサイト運営者にその管理が任される。このため、例えば、図5(d)から図5(e)へはSコード入力によるアクセスはできない。しかし、お客様のホームページを預かるという、いわゆる「ホスティング」の形態を利用することにより、サイト運営者の提供するサイト間においてもSコード入力を可能とするようにしてもよい。

【0094】なお、今回は、図3等において示したように、データベース103には、メニュー項目とSコードとを対応付けたメニューテーブル107が設けられている。そして、表示されたメニュー画面の中の所望の項目が選択されると、メニューテーブル107から、その項目に対応するSコードが選出される。そして、その選出されたSコードを用いて、Sコード解析によるURL選出が行なわれる。

【0095】しかし、このようなURLの選出方法に限定されるわけではない。たとえば、各メニューの項目を、Sコードではなく、URLと直接対応づけてテーブル化するようにしてもよい。この場合、Sコードテーブル105とは別にテーブルを設けてもよいが、Sコードテーブルにさらにメニュー項目の欄を設けてそれぞれを対応させて登録してもよい。

【0096】今回示したSコード管理サーバ100が行なうインターネットアクセス支援方法は、前述した一連の処理動作を機能させるためのプログラムによって実現することができる。このインターネットアクセス支援プログラムは、予め、Sコード管理サーバ100内のハードディスクにインストールされたものであってもよいし、CD-ROM、磁気テープのような取外し可能な記録媒体に記録されたものであってもよい。いずれにせよ、データ通信プログラムはコンピュータ読み取り可能

な記録媒体に記録されている。

【0097】なお、コンピュータ読み取り可能な記録媒体としては、磁気テープやカセットテープなどのテープ系、磁気ディスク（フレキシブルディスク、ハードディスク装置等）や光ディスク（CD-ROM/MO/MD/DVD等）などのディスク系、ICカード（メモ리카ードを含む）や光カードなどのカード系、あるいはROM、EPROM、EEPROM、フラッシュROMなどの半導体メモリ等の固定的にプログラムを担持する媒体が考えられる。

【0098】なお、記録媒体に格納される内容としては、プログラムに限定されず、データであってもよい。

【0099】今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施の形態におけるSコード管理サーバ100がインターネット500に接続されネットワークを構成する例を示した図である。

【図2】 携帯端末200について説明するための模式図である。

【図3】 Sコード管理サーバ100の概略構成を示した機能ブロック図である。

【図4】 データベース103に登録されているSコードテーブル105の例を示した図である。

【図5】 Sコードと階層構造になったメニュー項目との関係を説明するための携帯端末200に出力される表示画面の例を示した図である。

【図6】 Sコード管理サーバ100における全体処理の流れを示したフローチャートである。

【図7】 Sコードサイトに接続された際に最初に表示されるメインメニュー画面の例を示した図である。

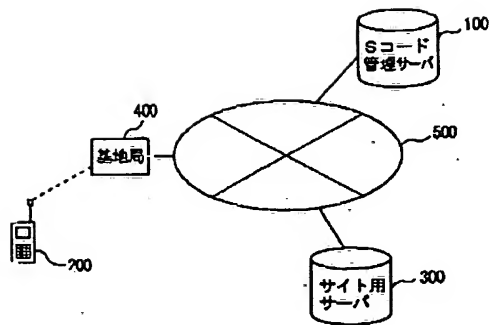
【図8】 Sコード入力を行なうための入力画面および所望のサイトへアクセスした際の表示画面の例を示した図である。

【図9】 第3の方法を説明するための携帯端末の画面に表示される例を示した図である。

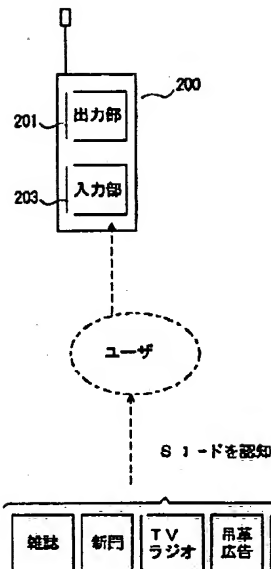
【符号の説明】

100 Sコード管理サーバ、101 受信部、103 データベース、105 Sコードテーブル、107 メニューテーブル、109 解析部、111 送信部、113 制御部、300 サイト用サーバ、200 携帯端末、201 出力部、203 入力部、400 基地局、500 インターネット。

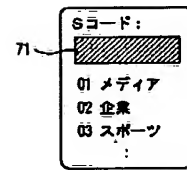
【図1】



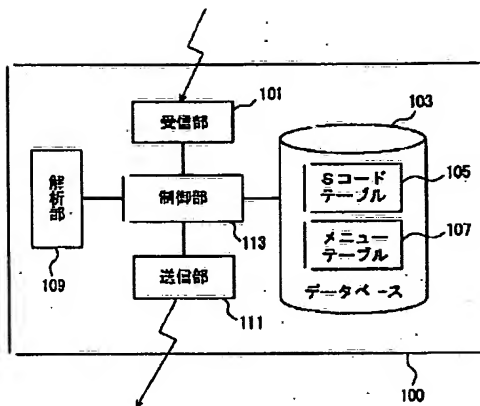
【図2】



【図7】



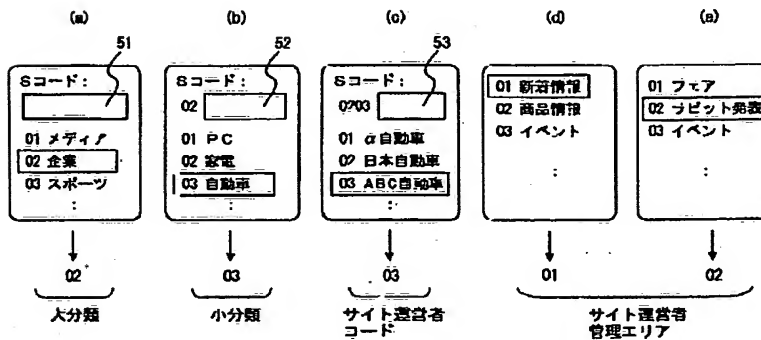
【図3】



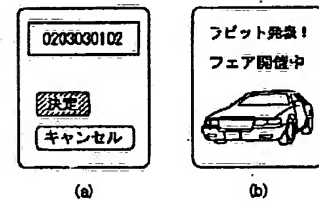
【図4】

| Sコード | URL |
|------------|-------------------------------------|
| 02 | www.s_code.co.jp/index |
| 0203 | www.s_code.co.jp/index/car |
| 020303 | www.abcauto.co.jp/index.html |
| 02030301 | www.abcauto.co.jp/news |
| 0203030102 | www.abcauto.co.jp/rabbit/index.html |

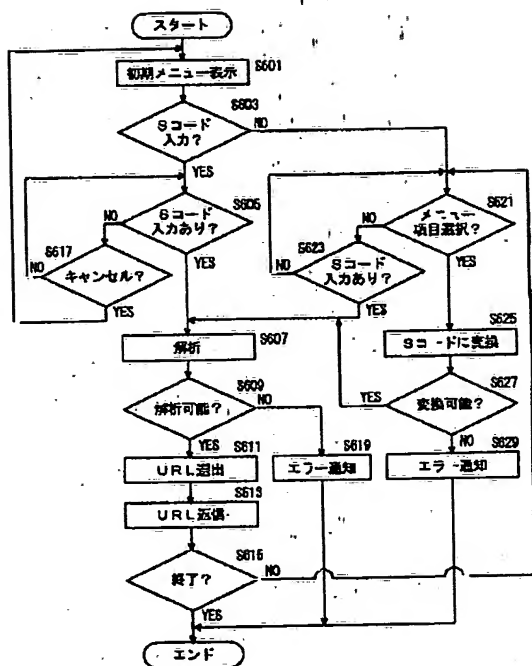
【図5】



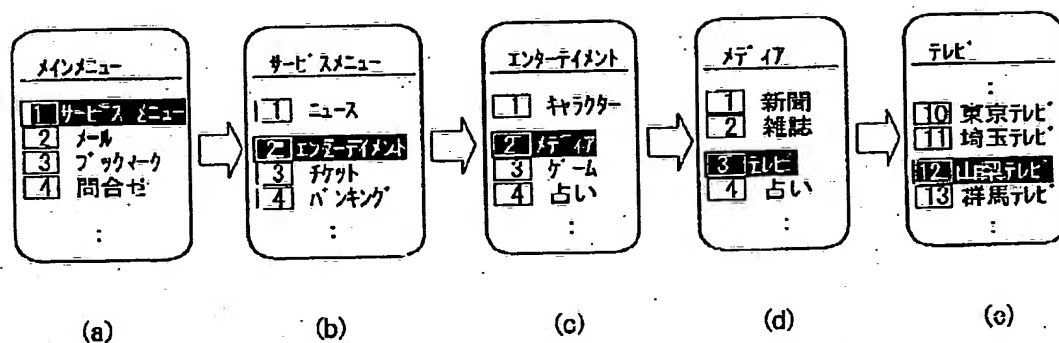
【図8】



【図6】



【図9】



フロントページの続き

Fターム(参考) 5B075 KK07 NK43 PP13 PP28
 5E501 AA02 AB03 AB15 AC25 AC33
 AC37 BA01 BA05 CA02 CB02
 DA13 EA02 EB05 FA13 FA14

【発明の名称】

インターネットアクセス支援方法、インターネットアクセス支援装置、インターネットアクセス
支援プログラムおよびインターネットアクセス支援プログラムを記録したコンピュータ読み取り
可能な記録媒体